

様式 A-1

平成 28 年 11 月 16 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 宮崎県立延岡高等学校 石川 展
2. 講師氏名: Dr. Halil I CIFTCI (チッフチ ハリルイブラヒム)
3. 同行者氏名: 無し
4. 実施日時: 平成 28 年 11 月 8 日 (火) 13:55 ~ 15:35
5. 参加生徒: 1年生 8人、 2年生 80人、 3年生 2人 (合計 90人)  
備考: (例: 理数科の生徒) メディカル・サイエンス科の生徒
6. 講演題目: (英文)  
(和文) SFXを用いたHIVアクセサリータンパク質と宿主制限因子の複合体の動的構造の解明
7. 講演概要: トルコの文化について  
研究内容(上記演題)
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 90 分 質疑応答時間 20 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクターを使用しパワーポイントで講演
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
無し
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
前日に英語教諭がプレゼンの内容のキーワードを調べておくように指示した。
10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金
11. その他特筆すべき事項: 話すスピード速く、研究内容も難解なので、英語力がそれほどない生徒は全く理解できなかったようである。英語の教諭が所々サポートしていた。自国文化の紹介では、写真や動画を交え、分かりやすく伝えようとしている姿が見られた。理解してもらおうと内容を繰り返す姿が見られた。